

令和2年6月18日から19日にかけての梅雨前線による大雨について (滋賀県の気象速報)

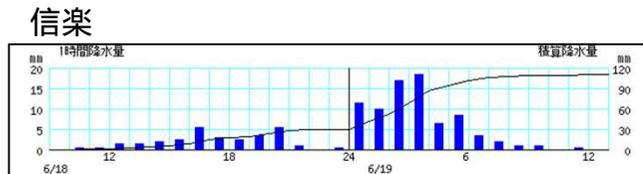
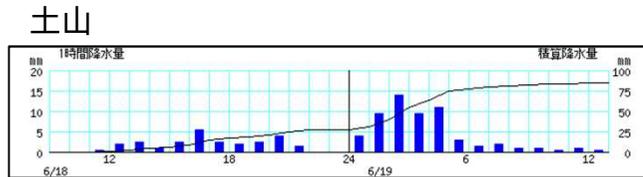
この資料は速報として取り急ぎまとめたものです。そのため、後日内容の一部訂正や追加をすることがあります。

概要

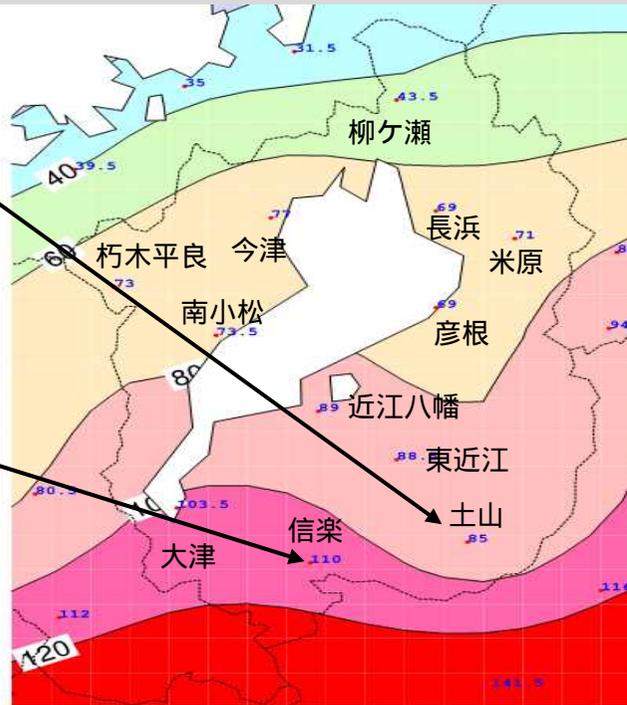
梅雨前線上の低気圧が18日から19日にかけて西日本を通過し、前線や低気圧に向かって暖かく湿った空気が流れ込んだため、滋賀県では大気の状態が不安定となり前線の活動が活発となりました。このため、滋賀県では大雨となり、甲賀市で住宅の裏山でがけが崩れ、土砂が流れ込み住宅の一部損壊しました(甲賀市調べ)。

18日09時から19日13時までの総雨量(速報値)は、甲賀市信楽110.0ミリ、大津市萱野浦103.5ミリ、近江八幡89.0ミリ、東近江市桜川東88.5ミリ、甲賀市土山85.0ミリを観測しました。

アメダス期間降水量(6月18日09時~19日13時まで)



横軸は時刻を示す。
降水量棒グラフは1時間降水量(左軸)、折れ線グラフは積算降水量(右軸)を示す。



降り始めからのアメダス総雨量(速報値)
6月18日09時から19日13時まで
(単位 ミリ)

1 甲賀市信楽	110.0
2 大津市萱野浦	103.5
3 近江八幡	89.0
4 東近江市桜川東	88.5
5 甲賀市土山	85.0
6 高島市今津	77.0
7 大津市南小松	73.5
8 高島市朽木平良	73.0
9 米原市朝日	71.0
10 彦根	69.0
11 長浜市唐国	69.0
12 長浜市余呉町柳ヶ瀬	43.5

